

12月定例会の報告

12月定例会は、11月29日から12月23日までの日程で開催されました。初日には、定期監査の結果に関する報告など監査報告が4件、公用車の事故に関する専決処分の報告が2件、令和3年度岩国市一般会計補正予算（第8号）など22議案が提出され、議案はそれぞれ、総務常任委員会、教育民生常任委員会、経済常任委員会、建設常任委員会に付託されました。

一般質問は12月8日・9日・10日・13日の4日間の日程で23人の議員が登壇し、不登校児童・生徒への対応、SDGsへの取組、電子母子手帳の導入などについて、活発な議論が交わされました。

12月13日には、子育て世帯への臨時特別給付金の支給に係る経費の追加計上を行う令和3年度岩国市一般会計補正予算（第9号）が上程され、原案のとおり全会一致で可決されました。

休会中の12月15日・16日・17日・20日の4日間において、経済、教育民生、建設、総務常任委員会が開催され、付託された議案について慎重な審査が行われました。

最終日には、各常任委員会の委員長から、委員会に付託された議案の審査経過と結果について報告があり、議案22件の全てが、原案のとおり全会一致で可決されました。

なお、継続審査案件であった請願第2号については、教育民生常任委員会より、引き続き継続審査の申出がなされ、承認されました。

次に、子育て世帯への臨時特別給付金の支給に係る令和3年度岩国市一般会計補正予算（第10号）が上程され、原案どおり可決されました。

続いて、都市活力再生・推進調査特別委員会により、岩国錦帯橋空港、JR岩国駅、JR南岩国駅などをそれぞれ軸とする都市拠点の活力再生に向けた調査報告がなされました。

次に、議員提出議案「米危機の改善を求める意見書」が提出され、賛成多数で可決されました。

最後に、各常任委員会から閉会中に審査するための特定事件について申出があり、議決され、閉会となりました。